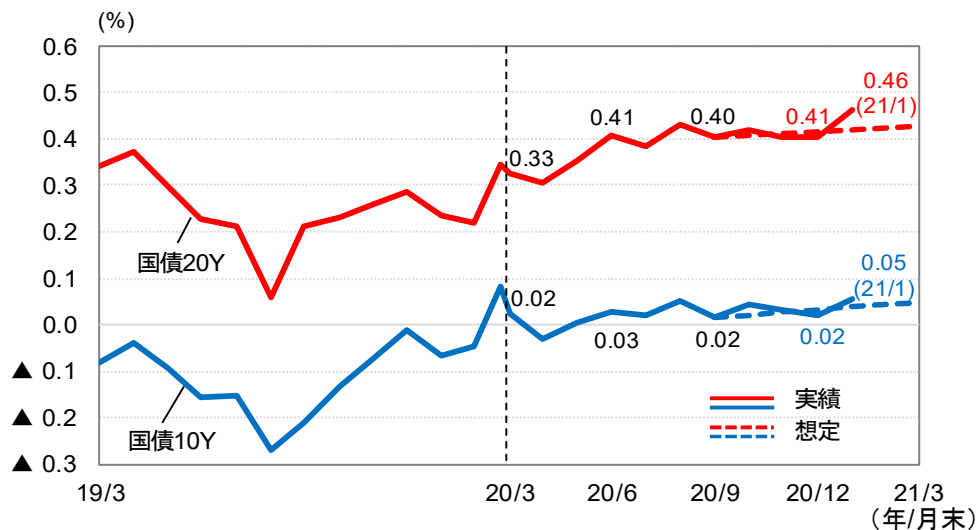


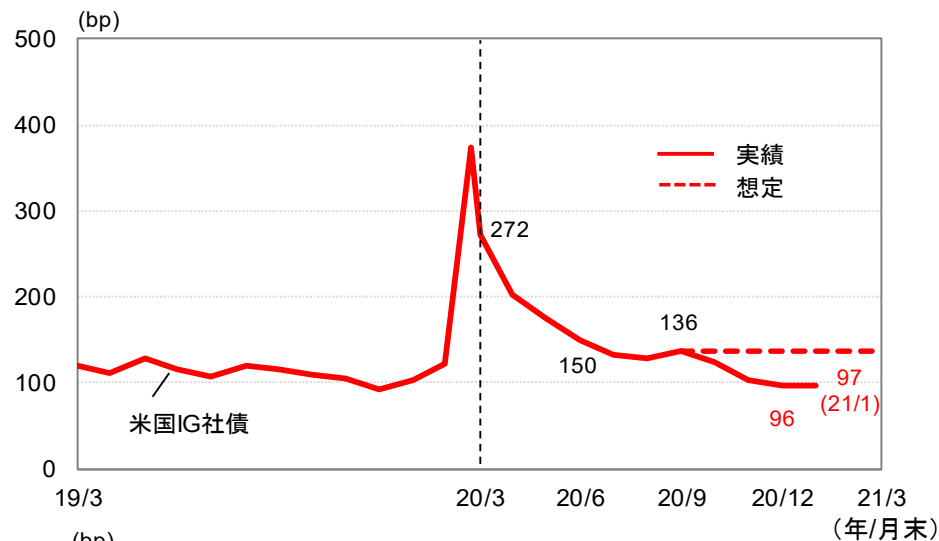
- 修正後の業績予想(20年11月13日公表)の前提条件については、以下の通り。
  - ー 内外金利については、20年9月末時点のインプライド・フォワード・レートに沿って推移すると想定。
  - ー 海外のクレジットスプレッドについては、20年9月末の水準で横ばい推移すると想定。

## 金利等の前提

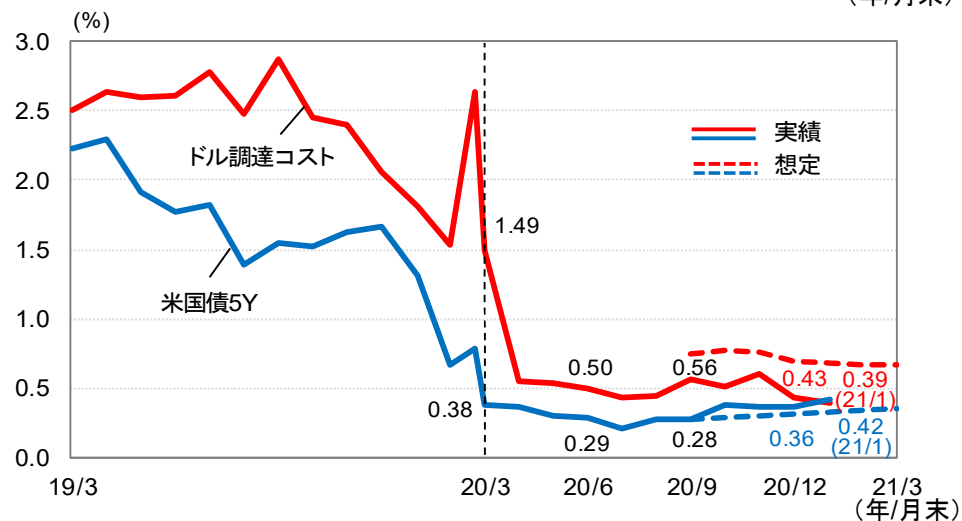
### 円金利



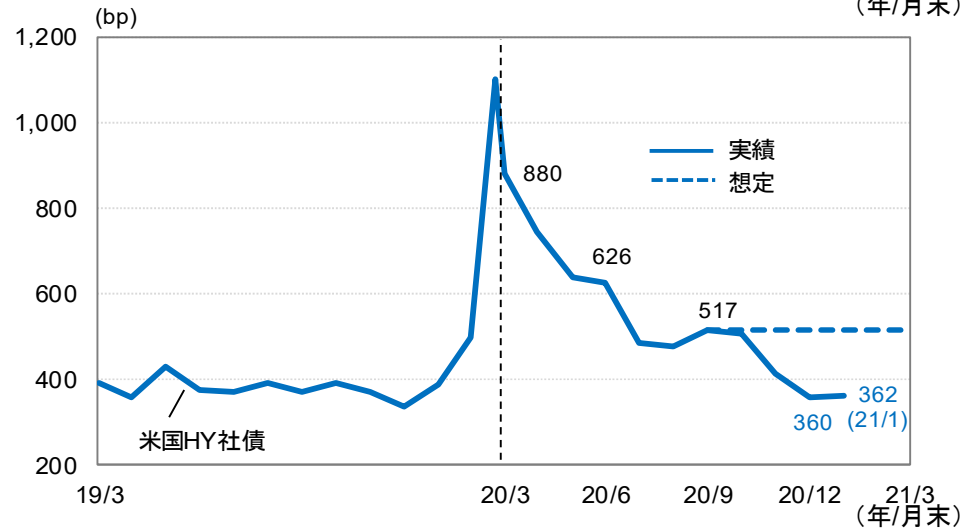
### 米国IG社債スプレッド



### 米金利/ドル調達コスト

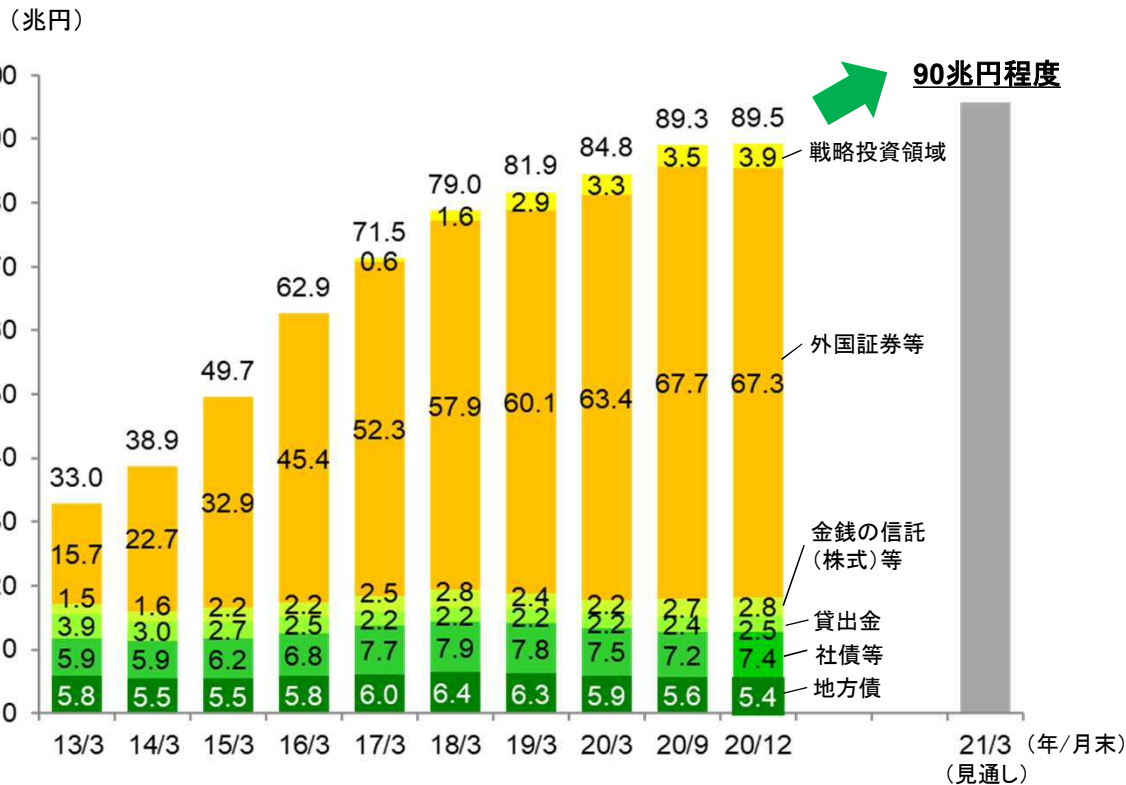


### 米国HY社債スプレッド



- 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う市場混乱については、各国中央銀行の金融緩和・経済活動正常化期待から落ち着きが見られているものの、今後のダウンサイドリスクが払拭できない環境下、引き続き、リスク抑制的なポートフォリオ運営を継続。

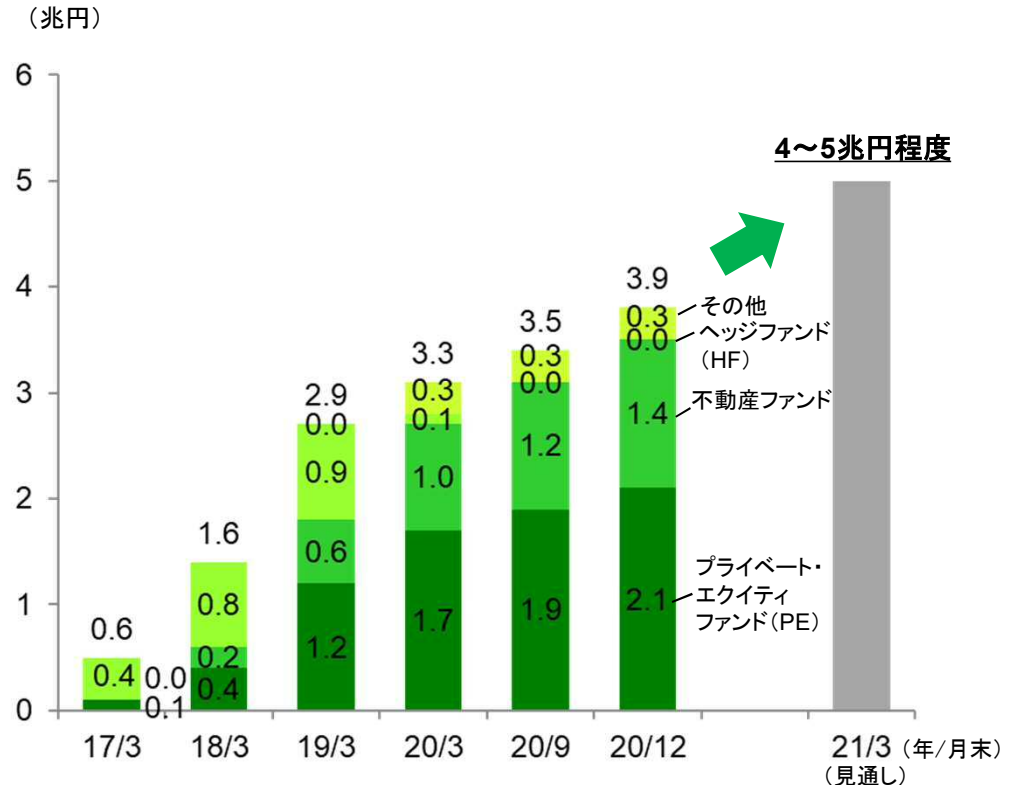
## リスク性資産※1残高(単体)



注: 20年3月末は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う市場混乱により、クレジットスプレッドが急拡大し、時価が減少

※1: 円金利(国債等)以外(クレジット、外国国債、株式、オルタナティブ)

## 戦略投資領域※2残高(単体)



※2: オルタナティブ資産(プライベート・エクイティファンド、不動産ファンド(エクイティ)等)、不動産ファンド(デット)、ダイレクトレンディングファンド、インフラデットファンド